

テーマ：『 厚木メダカを飼育して、環境問題をしよう』

厚木市立 小鮎小学校

Tel. 046 - 241-1452 担 当 八 巻 美 穂 子
者：



■実践内容：

「厚木メダカ」の研究者の方から、厚木メダカを採取していただき、5年生の理科の「誕生のふしぎ」の学習の中で、観察と飼育を行った。

また、4年生の総合的な学習の時間では、環境について考えるにあたって、子どもたちにとっても身近な存在である、学校の近くを流れる小鮎川に行き、水辺の生き物や植物についての観察や調べ学習を行った。小鮎川には、厚木メダカではないメダカがいる。そのメダカと、「厚木メダカ」の研究者の方に採取していただいたメダカとは、どう違うのかを研究者の方に来ていただき、環境破壊による絶滅危惧生物の話と合わせて講話をしていただいた。

■実践成果：

5年生の理科の「誕生の不思議」の学習では、教科書に載っているひめだかと、厚木メダカの違い等に興味を持ち、飼育、観察をすることができた。育てていく中で、失敗することもあったが、その経験を通してメダカの生態や生きることができる環境に目をむけることができた。

4年生の総合的な学習の時間では、小鮎川に行き、そこにいる生物や植物の採取や観察、飼育等から学習を始めた。児童が、自分の興味を持った動植物についての調べ学習を進めていく中で、小鮎川にいるめだかについて、調べた児童がいたので、5年生が飼育していた「厚木メダカ」を紹介した。メダカにもいろいろな種類があることを知り、生態や環境の違いなど、興味関心をもって学習に取り組むことができた。さらに、学習を深めるために、「厚木メダカ」の研究者の方に、厚木メダカのことを踏まえ、環境破壊による絶滅危惧動物についての講話をしていただいた。「厚木メダカ」がずいぶん前に絶滅してしまっている可能性があることや、今存在している「厚木メダカ」も他の地域から流入したものではないかと疑われていること、メダカの他にも絶滅しそうな生物が、たくさんいることを知ることで、児童の環境に対する意識を高めることができた。

■実践ポイント：

児童にとって、身近にいる動物を取り上げ、教材にしたことで興味関心を持って取り組める内容となった。また、4年生の学習においては、児童が興味関心を持ったことから、視野を広げることができたので、環境についての問題を身近なこととして捕らえることができた。